

平成30年度「行動・実践目標シート」分析結果

昨年度の学校評議委員会において、学校評価アンケートについて次のような提言があった。

- 1 大項目を3つあげる
- 2 大項目を踏まえ、評価の観点（思考）を具体化する
- 3 評価の観点から、さらに行動指針を具体化する
- 4 質問項目は、各項目10個以内に集約する

上記を受けて、今回のアンケートを実施し、個々の教育実践に生かすこととした。

1 理念・経営方針・重点方針

- (1) 平均は3.2と高い数値を示している。特に【3】は3.4ポイントと最も高く、先生方の教育活動が、部長・年次主任の経営目標を踏まえた実践であることがよく分かる。これは、部長・主任が常日頃からコミュニケーションを図りながら、進むべき方向性を示していることが分かる。
- (2) 一方で、コーディネーター・キャンパスカウンセラーとの連携は、2.9と平均値を下回っている。特に若手教員や専任教員の数値が低い。外部との連携が必要としないケースが多いのか、連携することへの迷いや戸惑いがあるのならばミドルリーダーやベテラン教員の支援が必要かもしれない。

2 魅力ある学校・特色ある学校への取組

- (1) 平均値は3.0である。【1～3】の授業に関する質問では、平均値が3.2である。これは、各先生方が、授業規律を大切にすると共に、対話的・主体的な授業の実践を意識していることが分かる。
- (2) 【5】の平均値は2.8である。日頃より超過勤務の縮減に努力をしていることは理解しているが、特定の先生への負担感がアンケートから伺える。スクラップ&ビルドの必要性を感じさせる結果である。
- (3) 【7】も平均値が2.8である。進路指導部は、進路通信や進路の手引きを発行するなど情報を発信してくれている。
また、教務ガイダンス部もALを軸に授業改善の推進や、長期休業中の補習を計画するなど生徒の学力向上に努めている。さらに、年次の先生は生徒の進路相談に熱心に対応したり、進学や就職指導を積極的に学ぼうとする姿勢の先生も見られる。ただ、それぞれが線で繋がるような仕掛けと工夫が必要である。

3 自尊感情の育成

- (1) 全体の平均値は3.1であるものの、【3～5】は、平均が3.2～3.5と高い数値を示している。生徒指導部を中心として、生徒との係わりを大切にしている学校の姿勢が現れている。
- (2) 一方で【6～8】が3.0未満なのが気になるところである。生徒会活動や部活動(ボランティア部 等)の授業以外の生徒の活動にも、さらに理解と関心を示すことで生徒への係わり方も違ってくのではないかと。

4 まとめ

今回のアンケートで、各先生方は学校の理念や教育目標を理解しながら、自身の教育活動を推進していることがよく分かった。先生方は、多様な価値観を持つ生徒や時には保護者とも、丁寧に生徒と向き合い指導し成果を上げている。

一方で、個人のスキルを縦・横の繋がりや連携することで、より素晴らしい教育活動に繋げていくことに課題が残る結果となった。

前期が終了し、今期も様々な成果が発表されている。今後は、上記の課題を克服し「チームはんこや」として、より素晴らしい学校になることを期待する。

<p>教育目標</p> <p>1 設置趣旨及び県がめざすべき3つの人間像を踏まえた、生徒一人一人の「生きる力」の育成</p> <p>2 併設の阪神昆陽特別支援学校との交流及び共同学習の推進</p> <p>3 高校生ふるさと貢献活動事業等を活用した地域に愛される学校づくり</p> <p>4 教職員の豊かな人間性や専門性、実践的指導力の向上</p>

<p>理念</p> <p>阪神昆陽の両校がともに助け合って生きていくことを実践的に学ぶ機会を設定し、ふれあいを通じた豊かな人間性を育むとともに、社会におけるノーマライゼーションの理念を進展するための礎となる学校をめざす。</p>
--

<p>学校経営方針</p> <p>1 生徒の興味・関心や、多様な学習ニーズに応じて、主体的に学ぶことができる多部制単位制高等学校として、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む。</p> <p>2 阪神昆陽特別支援学校が同一敷地に設置されたメリットを最大限に生かして交流及び共同学習を推進し、ふれあいを通じた豊かな人間性を育むとともに、社会におけるノーマライゼーションの理念を進展する礎となる学校をめざす。また、両校の実践を県内のみならず全国へ発信する。</p> <p>3 学校評議員制度や高校生ふるさと貢献活動事業、特別支援学校交流・体験チャレンジ事業などを活用して、伊丹市池尻地区や尼崎市西昆陽地区など、学校周辺の地域と連携した教育活動を推進し、地域に開かれた、地域に愛される学校をめざす。</p> <p>4 「教育は人なり」という言葉があるように、両校の教職員は、教育の専門家としての使命感と高い倫理性を保持し、豊かな人間性の涵養に努める。また、専門性と実践的指導力の向上や、社会の変化に対応した教育観を培うことをめざして、研究と修養に努める。</p>
--

評価点：十分できている=4、概ねできている=3、あまりできていない=2、できていない=1

評価の観点		行動・実践目標 評価		自己評価	備考
理念・経営方針・重点方針	円滑な学校運営	学校の理念を理解している	1 理念を踏まえて、自身の学校教育活動に反映させている。	3.2	
		学校経営の基本方針を理解している	2 学校経営の基本方針を、自身の教育活動に具体的に反映させている。	3.1	
		自分が所属している、部・年次の経営目標を理解している	3 部・年次の経営目標に沿って、自身の教育活動に反映させている。	3.4	
		自分が所属している、部・年次の重点目標を理解している	4 部・年次の重点目標に沿って、自身の教育活動に反映させている。	3.3	
	勤務時間の適正化	勤務時間の適正化を理解している	5 校務・業務の適正化により、超過勤務の縮減に努力している。	3.2	
	危機管理体制の整備	本校のいじめ防止基本方針を理解している	6 基本的な考え方・指導体制、組織的対応・重大事態の対応ができている。	3.3	
		本校の危機管理体制を理解している	7 火災避難誘導、震災避難誘導のマニュアル・心肺蘇生法の習得 等が行うことができている。	3.2	
		日頃より関係機関との連携を密にし、様々な危機に対応できる体制を整えている	8 コーディネーター・キャンパスカウンセラー・外部関係機関(警察・消防・病院・SSW・福祉支援員 等)との連携ができている。	2.9	
魅力ある学校・特色ある学校への取組	学力向上	授業規律の確保に努めている	1 落ち着いた授業を行うため、ルールやマナーを生徒に周知徹底させている。	3.2	
		ALの視点を取り入れた授業展開を構築している	2 学ぶことに興味関心を持ち、粘り強く学習を行う。生徒同士の協働や教員との対話等により、考えを広げ深める。問題を見出し解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び等の視点で授業を行っている。	3.1	
		UDの考え方を活かした授業を構築している	3 分かる授業、分りやすい授業、生徒が積極的に参加できる授業の取組を行っている。	3.2	
		大型ディスプレイやICT、iPad等を効果的に活用した学習活動を推進している	4 情報を主体的に収集・判断・処理・編集・創造・表現し発信・伝達できる能力を育成している。	2.8	
	通級指導	本校における通級による指導を理解している	5 LDやADHD等により、学習や生活にさまざまな課題のある生徒に、きめ細かい指導・支援に取り組んでいる。	2.8	
	進路指導	生徒一人一人にきめ細やかな進路指導を行っている	6 生徒のニーズを的確に把握するため、丁寧な面談を繰り返し行っている。	2.9	
		系統的・組織的な進路指導を行っている	7 進路指導部やガイダンス部と連携を取りながら、進路指導を行っている。	2.8	
	広報活動	本校の広報活動を理解している	8 SPIRITの作成・ホームページやブログの更新・中高連絡会・オープンハイスクール、学校説明会、募集要項説明会 等 理解している。	2.9	
自尊感情の醸成	自己効力感	生徒の多様な能力・適正・興味に即し、自ら学ぶ学習意欲を喚起している	1 生徒一人一人の学習状況に応じた指導を行うとともに、必要に応じて補習等を実施している、または、実施する計画がある。	3.1	
	自己効力感・自己肯定感	部活動を充実させようと努力している	2 部活動の意義を理解し、生徒の活動を支援している。	3.2	
	自己肯定感	カウンセリングマインドの視点を活かす指導で生徒や保護者対応を行っている	3 他の教員と、本校の生徒指導について共通理解し、同一歩調で指導にあたるよう心掛けている。	3.2	
	自己肯定感	生徒に社会のルールやマナーを遵守する態度を身につけさせようとしている	4 生徒に「ダメなものはダメ」と繰り返し指導している。	3.4	
	自己肯定感	生徒に誇りを持たせるような取組を行っている	5 生徒の長所を見つけようと努力をしている。	3.5	
	自己有用感	本校の高校生ふるさと地域貢献活動(理科実験教室・ふれあい調理・ヤングフェスティバル・地域福祉防災マップ作成・合同避難訓練等)の内容を理解している	6 高校生ふるさと地域貢献活動を理解し、その活動を支援している。	2.8	
	自己有用感	生徒会の活動や取組(生徒総会・体育祭・生活体験発表大会・スローガンの募集、決定・生徒会通信(SST)の発行、交換留学生との交流)を理解している	7 生徒会活動を理解し、その活動を支援している。	2.9	
	自己有用感	本校のボランティア活動街頭(募金活動・地域一斉清掃・プランター寄贈・村岡高校雪かきボランティア・防災ジュニアリーダー)を理解している	8 ボランティア活動を理解し、その活動を支援している。	3.1	